

■食の安全安心に係る情報提供の取組み（第4期大阪府食の安全安心推進計画）

情報の提供の充実〔施策の柱3〕

＜下線部は数値目標関連項目＞

(1) 食の安全安心の情報発信の推進

- ・ホームページやメールマガジン等のオンラインツールによる情報発信
- ・広報誌やリーフレット等の紙媒体による情報発信
- ・外国人に対応した啓発媒体による情報発信
- ・行政、企業等の主催するイベントやキャンペーンでの情報発信
- ・自主回収（リコール）情報の提供
- ・食に関する社会の動向を踏まえた情報の提供
- ・食育の推進による食に関する理解の促進
- ・学校関係者に対する食物アレルギーの研修の実施
- ・消費者団体等の活動内容の発表

(2) リスクコミュニケーションの促進

- ・食の安全に関するリスクコミュニケーションの推進
- ・大阪府食品衛生監視指導計画策定時の意見募集
- ・府民ニーズの把握

生産から消費に至る各段階での食の安全性の確保〔施策の柱1〕

(3) 食品表示の適正化の推進

- ・食品表示制度の普及推進

事業者の自主的な取組促進〔施策の柱4〕

(2) HACCPの取組支援をはじめとする自主衛生管理の推進

- ・HACCPに沿った衛生管理の取組支援（食品衛生講習会）

＜参考：昨年度の部会における主な意見＞

- ・Instagramなど他のSNSの活用
- ・啓発動画の長さや音声挿入などの工夫
- ・LINE開始に向けたメニュー項目や発信頻度にかかる検討

目標指標	基準値 (R3年度実績)	最終目標 (R9度)
情報の提供の充実〔施策の柱3〕		
大阪府食の安全安心メールマガジンによる情報発信（登録者数）	8,818名	15,000名
オンラインツールによる情報発信（食の安全安心関連ページのアクセス数）	96万PV	120万PV
紙媒体を活用した情報発信（広報誌・広告等への掲載回数と部数）	73回・154万部	80回・160万部
リスクコミュニケーションの推進（意見交換会や講習会等への府民の参加者数）	531名	4,000名
生産から消費に至る各段階での食の安全性の確保〔施策の柱1〕		
食品表示制度の普及推進（食品表示学習会の開催数と理解度）	6回・91%	15回・95%
事業者の自主的な取組の促進〔施策の柱4〕		
食品等事業者向け食品衛生講習会の開催（事業者の参加者数）	4,821名	8,000名

取組内容	取組状況（特に記載のないデータはR7年12月末時点）	目標指標等	自己評価と対応
<p>オンラインツールを活用した情報発信</p> <p>①メールマガジンによる情報発信</p> <p>②SNSを活用した情報発信</p> <p>③食の安全安心関連のホームページ</p>	<p>①登録者が6種類(※)から選択し、情報を随時配信 ※緊急情報、自主回収情報、知っトク!食の情報、イベント情報、事業者向け情報、食品衛生いろはの「い」 配信件数 251件（R6年度 378件）</p> <p>②SNSを活用した情報発信 ・府公式Xを活用した配信 配信件数 19件（ウエルシュ菌、貝毒発生など） （R6年度 25件） ・食の安全推進課YouTubeチャンネル（R7年2月開設） カンピロバクタークイズなど5種類追加（合計11種類） テイクアウトした食品の取扱いについては万博会場でも啓発 ・食の安全推進課公式LINE（R7年7月開設） 友だち 216名 配信回数 14回（食中毒予防、イベント情報など）</p> <p>③食の安全安心お役立ちポータルサイト（R6年7月開設） 食中毒の発生や食品衛生法違反等の情報、食中毒予防、メールマガジンバックナンバーなどを掲載</p>	<p>①メールマガジン登録者数 R6年度：9,931名 R7年度(見込)：10,000名 R9年度(目標)：15,000名</p> <p>③ホームページアクセス数 R6年度(※)：約42万PV R7年度(見込)：約30万PV R9年度(目標)：120万PV ※R6.5月末から集計方式が変更</p>	<p>①メールマガジン登録者の増加が鈍化しているため、引き続きイベントでの勧誘など周知に取り組む。</p> <p>②YouTubeは、食中毒予防クイズなどの動画の閲覧が多く、今後も府民に関心を持ってもらえる配信に取り組む。 LINEについては、金曜夕方の開封が多く、表示率が高いのは短文なもの、チラシ等の画像であるため、今後の発信を工夫する。</p> <p>③ホームページのアクセス数が減少。R8年度に予定している認証取得補助事業の実施に合わせ、HACCPの取組みの周知啓発を行う。 ホームページに誘導できるようSNSで発信する場合に必ずURLを記載する。</p>
<p>紙媒体を活用した情報発信</p>	<p>○食中毒予防啓発ポスター作成及び掲示（掲示先） 食中毒予防（食品量販店等）、ふぐ中毒予防（釣具店等）、毒キノコ予防（キャンプ場等）などの掲示を依頼</p> <p>○市町村広報誌、消費者関係広報誌への記事掲載</p>	<p>広報誌等の掲載回数・部数 R6年度：94回・174万部 R7年度(見込)：111回・228万部 R9年度(目標)：80回・160万部</p>	<p>市町村広報誌への掲載が求められており、引き続き、食中毒予防に関する記事やポスターなど、季節に合わせた必要な情報提供を行う。</p>
<p>リスクコミュニケーション</p>	<p>○食品に関するリスクコミュニケーション R8年2月18日「カンピロバクター食中毒を考える」参加者 60名</p> <p>○食の安全安心学習会 イオン堺北花田店、おおさかパルコープつるみ店等4カ所で開催、参加者 74名</p> <p>○出前授業・食の安全教室 府内の支援学校2カ所で実施、参加者 80名</p> <p>○その他実施した講習会等 3,470名</p>	<p>府民の講習会等への参加者数 R6年度：3,061名 R7年度(見込)：約4,600名 R9年度(目標)：4,000名</p>	<p>大学や高校などへの食中毒予防に関する講習会の依頼が増えており、保健所と連携しながら対応する。</p>

取組内容	取組状況（特に記載のないデータはR7年12月末時点）	目標指標等	自己評価と対応
食品表示制度の普及推進	<ul style="list-style-type: none"> ○食品表示まなびぷらす（食品表示を学習し、実際の買い物で確認・報告） 5回実施、参加者 122名（うち、学習後の報告 95名） ○各種教材の作成 小学生向け学習シートやクイズ動画等を作成 ○事業者向け食品表示研修会 R7年11月18日（午前・午後）開催、参加者 184名 「加工食品の表示と最近のトピックス」 ○その他実施した講習会等 6回実施、参加者 168名（事業者や消費者） 	食品表示学習会の開催数・理解度 R6年度： 11回・96% R7年度（見込）：約13回・98% R9年度（目標）： 15回・95%	消費者向けの食品表示学習会は好評であり、今後も分かりやすい内容に努めるとともに、学習会後の報告まで提出してもらうよう取り組む。 事業者向けの研修会も関心が高く、今後も時宜にかなったテーマを設定して実施する。
食品等事業者向け食品衛生講習会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○大阪市等と共催によるHACCPセミナー WEB開催、再生回数1946回 ○企業との共催による食品衛生セミナー 2回実施、参加者 75名 ○インターネット視聴型の実務講習 97名 ○その他実施した講習会等 8,703名（製造施設や給食施設など） 	事業者の講習会等への参加者数 R6年度： 8,387名 R7年度（見込）：約11,000名 R9年度（目標）： 8,000名	食品衛生に関する講習会は着実に実施していく。R8年度に予定している認証取得補助事業について周知し、中小規模の事業者の衛生管理の取組みを促進する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○多言語に対応した啓発資料の作成 食品衛生講習会テキスト「食中毒を防ぐには」の多言語化本編（9言語）、別冊（5言語） 		引き続き、食品衛生に関する多言語資料の充実を図る。